

第2章 学校施設の目指すべき姿

第2章 学校施設の目指すべき姿

学校施設の改修・整備において、次のような視点から課題を十分に踏まえるとともに、さらに社会の変化・進展に柔軟に対応した機能や役割等の充実にも取り組み、学校施設のあるべき姿の実現を目指していきます。

(1) 安全・安心かつ快適な施設環境

学校は、児童・生徒が一日の大半の時間を過ごす学習・生活の場であるため、安全・安心かつ快適な施設環境を確保することが必要です。

児童・生徒が毎日行きたくなる魅力ある学校であるよう、安全性、快適性に配慮した施設整備を図ります。また、年齢や障害の有無にかかわらず誰もが学校施設を利用できるよう、ユニバーサルデザイン化を積極的に進めていきます。

(2) 時代のニーズに応えた教育環境

近年の教育内容・方法の多様化を踏まえ、時代に即した多機能かつ高機能な教育環境の確保が必要です。また、情報化の進展と普及に伴い、ICT環境の一体的な整備を効率的に進めることが必要です。

児童・生徒一人ひとりの教育ニーズに応じて、少人数学習や特別支援教育に対応した施設の整備を進めていきます。また、LED照明など省エネルギー化により環境に配慮した施設整備に積極的に取り組みます。

(3) 地域の学習・防災拠点としての学校

学校は、児童・生徒の教育施設であるだけでなく、地域の防災拠点や避難所、さらには生涯スポーツの場としての役割も果たす施設です。このため、それぞれの役割に応じた機能を備えるとともに、安全・安心な施設環境を確保することが必要です。

誰もが安全に安心して利用できるよう、地域とともにある学校としてふさわしい機能を整備していきます。